

## 株式会社 自然教育研究センター

実習地: 東京都立奥多摩湖畔公園山のふるさと村ビジターセンター／山梨県立桂川ウェルネスパーク

問合せ先: 東京都立奥多摩湖畔公園山のふるさと村ビジターセンター

TEL/FAX: 0428-86-2316 E-mail: yamafuru@hkr.ne.jp URL: <http://www.yamafuru.com/>

### 1. 食事・住居

- ・食事の支給はありません。ただし、宿泊型イベントや週末勤務など、宿泊を伴う場合は食事を支給します。
- ・住居の用意はありません。おうち探しの相談には、精一杯のります。
- ・各施設が街から遠く、交通機関からも離れているため、職員も車に乗り合わせて通っています。  
なので、自家用車がなくても、家付近や駅で職員の車に乗っていただけます。

### 2. 休み : 基本は、職員と同様に月に10日ほどにします。

ただし、希望に合わせて増やすことも減らすことも可能です。

### 3. 社会保険 : なし

### 4. 実習内容

様々な場面におけるインタープリテーションや、国立公園内の自然公園における情報提供や自然調査、里山公園での農業指導など、体験と実践を繰り返しながら学んでいきます。

- ・インタープリテーションのノウハウを体験から学び、実際に来訪者に実践して、それに対してスタッフからフィードバックをもらい、改善していくことができる。  
→自然体験プログラムの企画や実施、展示作製と解説、印刷物作成、自然体験キャンプ、農業体験イベント
- ・インタープリターとしての振る舞いやコミュニケーション方法を身につける。

実地研修は、現場スタッフの指導の下で行われる日々の作業によって、自らで学んでいくものです。体験し、感じ、自らで実践するというプロセスを踏みながら、1つ1つのことを身につけていきましょう。また、受身ではなく、疑問や気付きはその場で出してもらおう積極的な関係になると思います。

来訪者との関わりは、毎日いる職員でも日々大きな喜びをもらいますし、仕事内容は達成感の強いものです。しかし、現場は楽しいことばかりではないので、強い意欲をもって臨んでいただきたいと思います。

### 5. 必要とされる個人装備

- ・野外活動ができ、且つ公園利用者の前に出ておかしくない格好（ベストやフリース、ウィンドブレーカー、襟付きのシャツなど）で活動していただきます。